

幼少期から手掌症状が続いた成人アトピーの経過（32 歳）

症例 ID：001-30-AS2 | 記録日：2017 年 6 月 7 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、特に手のひらに出ることが多く、砂遊び、鉄棒、ボール遊びなどで手のひらから血が出ることもありました。小さい頃からステロイドを塗って症状が目立たなくなり、また悪化することを繰り返していました。

18 歳頃、友人の紹介で松本医院を受診されました。複数の経過記録を読み、ステロイドを使い続けることへの怖さを知る一方、自分にどの程度のリバウンドが来るのか不安もありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から手掌症状に対してステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	幼少期から 18 歳頃の松本医院受診前まで断続的に使用した経過があります。
中止時期	18 歳頃に松本医院を受診し、ステロイドを使用しない治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期	来院前	手のひらの症状が多く、遊びの後に血が出ることもありました。ステロイド外用を繰り返していました。
18 歳頃	治療開始	友人の紹介で松本医院を受診し、治療を始めました。
開始直後	リバウンド	これまで出ていなかった部位にもアトピー症状が広がり、全身に広がりました。毎日漢方風呂に入り、1 日 2～3 時間ほど浸かり、お茶も飲めるだけ飲んで過ごしました。
開始後 1 か月	軽減期	徐々に落ち着いてきました。顔にはあまり出ませんでした。
その後	生活再開	夢を叶えるために動き出し、古着に関わる仕事をするようになりました。埃に触れる環境や買い付けでアトピーが出ることはありました。
30 歳以降	再燃期	東京出張時に顔にアトピーが出て、何日もいと腫れてくるようになりました。花粉症の薬やスキンケアなどを見直しながら、再び煎じ薬を多く飲む方針で経過しています。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始直後に症状が全身に広がり、1 か月ほどほとんど家から出ずに漢方風呂やお茶を続けていた時期です。30 歳以降には東京出張時に顔へ症状が出て腫れる再燃もありました。

5. 患者さん・家族の困りごと

- ・ 幼少期から手掌症状があり、遊びや日常動作で出血することがありました。
- ・ 治療開始直後は全身に症状が広がり、1 か月ほど外出を控えて過ごしました。
- ・ 仕事上、埃や古着に触れる機会があり、症状が出るすることがありました。
- ・ 30 歳以降、出張時に顔の症状が出るようになり、生活環境の見直しが必要になりました。

6. 経過のまとめ

18 歳頃の治療開始直後には全身に症状が広がりましたが、1 か月ほどで徐々に落ち着いてきました。その後は仕事を始めました。古着や埃に触れる環境で症状が出ることはあり、都度対応しながらも大きな支障なく通常の生活を続けています。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。